

○新年を迎えて

あけましておめでとうございます。と言っても、もう1月半ばになっています。“1年の計は元旦にあり”という言葉がありますが、これは「1年間の計画はその年の初めに決めておくのがよい」(広辞苑)という意味です。皆さんは、もう計画を立てましたか？

新しい1年が始まりましたが、年度で考えれば今年度もあとわずか。特に、3年生にとって残された授業は2週間、登校日数も20日足らず。そして、最後の考査も間近に控えています。また、1、2年生にとっても、進級に向けて少しでも成績を上げ、資格取得や部活動で飛躍するためにも重要な時期になっています。何事も目標を掲げ、それに向けて目的を持って行動することが大切です。

今年度の集大成として、最後まで駆け抜けましょう。3月までよろしくお祈りします。

○“鐘が鳴る前の報われない時間”を大切に！

先月の12月25日から公開されている『えんとつ町のプペル』という映画を観ましたか？この映画の製作総指揮・脚本・原作は、漫才コンビ“キングコング”の西野亮廣^{あきひろ}さんです。彼は、漫才以外にも絵本作家や俳優等と幅広く活躍しています。

その西野さんが、2019年3月に近畿大学の卒業式でスピーチをしました。抜粋して紹介します。

「これから皆さんは社会に出ます。様々な挑戦の末、最高の仲間に出会えることもあるでしょうし、最高のパートナーに巡り会えることもあるでしょうし、最高の景色に立ち会うこともあるでしょう。

一方で、涙する夜もあるし、挫折もあるし、傷を背負うし、謂われのないバッシングを浴びることもあるでしょう。挑戦には、そういったネガティブな結果は必ずついてまわります。

でも、大丈夫。そういったネガティブな結果は、まもなく過去になり、そして僕らは過去を変えることができる。失敗した瞬間に辞めてしまうから失敗が存在するわけで、失敗を受け入れて、過去をアップデートし、試行錯誤を繰り返して、成功に辿りついた時、あの日の失敗が必要であったことを僕は知ります。つまり、理論上、この世界に失敗なんて存在しないわけです。このことを受けて、僕から皆さんに贈りたい言葉は一つだけです。挑戦してください。」(中略)

「時計の針って面白くて、長針と短針が約1時間ごとに重なるんです。1時5分頃に重なって、2時10分頃に重なって…毎時重なるんですけど、でも、11時台だけは重ならないんです。短針が逃げきっちゃう。2つの針が再び重なるのは12時。鐘が鳴る時です。

何が言いたいかというと、『鐘が鳴る前は報われない時間がありますよ』です。僕にもありましたし、皆さんにも必ずあります。“人生における11時台”が。でも大丈夫。時計の針は必ず重なるから。だから、挑戦してください。応援しています。頑張ってください。僕は、少し先で待っています。

このスピーチは動画配信されていますので、実際に観てみるとよいでしょう。人生において、苦しく辛い報われない時期は必ずあります。過去にそうだった人がいるかも知れませんが、今そう感じている人もいますかも知れません。あるいは、これから待ち受けているかも知れません。

西野さんは「この世の中に失敗はない」と言い切っています。それは、挑戦することの大切さを願っているからこそです。皆さんも、是非、様々なことに挑戦してみてください。



“僕は、恐怖を取り除くのはポジティブシンキングではなくて、ロジカルシンキングだと思っています。”
~by 西野亮廣~